

FWA 年間定番行事ともなっている藤沢七福神めぐりは1月22日に行われる。この藤沢の七福神めぐり（主催：藤沢市観光協会）は昭和28年(1953)から始まっている。戦後7年、世の中も落ち着き始めて来た時代、全国各地で始まったまちおこしともなる七福神めぐりを見習ったものであろう。さて七福神めぐりの起源はいつであろうか。調べて見ると七福神とはインド伝来の仁王経の中にある「七難即滅七福即生」という仏教語に由来する福德の神として日本で信仰される七柱の神となったという。江戸時代にはほぼ、現在の7人の神様が定着し、谷中の七福神めぐりが起源とされる。このアイデアは徳川家康の相談役とされる天台宗の大僧正天海、(天文5年1536～寛永20年1643)が家康に人心を鎮めるための方策として家康に提言し採用されたものとされる。



上野不忍の池に浮かぶ弁財天



私のオススメ見所：養命寺の天井絵

神の名	神様の出自	ご利益	藤沢七福神
恵比寿	唯一日本由来の神、古くは漁業の神	豊漁、商売繁盛、五穀豊穡	皇大神宮
大黒天	インド・ヒンズー教、マハーカーラ師	五穀豊穡、商売繁盛、財運	諏訪神社
毘沙門天	インド・ヒンズー教のクベーラ師	戦勝祈願、厄除け、	白旗神社・龍口寺
弁財天	紅一点、ヒンズー教の女神 徳のある天女	音楽、弁才、財福、知恵	江島神社
福祿寿	道教の栄の道士、天南星の化身。	長寿、福祿、健康	常光寺
寿老人	道教の神、南極星の化身	長寿、諸病平癒、子孫繁栄	感応院
布袋	唐の末期に実在したと言われる禅僧	福德、家内安全、子宝	養命寺

谷中七神誕生の経緯は上野に徳川家墓所となる東比叡寛永寺を建立する際、天海が3代徳川家光と相談し不忍池を琵琶湖に見立て、竹生島（ちくぶ）から弁財天を勧請したことに始まる。また護国院に家光から鎌倉時代の絵師、藤原信実筆の大黒天の画筆が奉納され参詣者を集めたというが。ほかの神様と寺院との関係は不明である。巡礼距離は5.5 km。詳しくは、平野武宏氏の谷中七福神めぐりのレポート：HP ひろば 寅さん歩05その4-1をご覧ください。画像はすべて無料画像。谷中七福神案内等を参考。